



アニメの人物と話す認知症の人=2010年、千葉労災病院で(中野有紀子成蹊大教授提供)

A
I
工で支える
認知症

3

アニメとおしゃべり

「認知症の人が同じ質問を繰り返すと、看護スタッフは仕事が進まず、家族は対応に困ってしまう。根気よく話し相手をしてくれる機械をつくれませんか」。千葉労災病院(千葉)の言語聴覚士で、京都工芸織維大の安田清特任教授は数年前、「人に寄り添うコンピューターづくり」を自らの研究テーマにし、中野教授らの研究チ

ームは、声のトーンや話が途切れながらの時間などを分析。適切なタイミングでアニメのキャラクターをするアニメーションの人物がうなずき、答える仕事をするアニメー

ションの人物を作ると、終わってから次の質問に進むようにした。認知症の約四十人に試してもらつたところ、約二十分間自然に会話を

していった。感想を聞く人の方に歓迎されたようだ」と中野教授は話

文部科学省は十九日、「記憶遺産に江戸時代の鎖国直前の日欧交渉」を伝える「慶長遣欧使

員の大妻の離職時に年金の資格変更を怠った専業主婦に対する年金過

改正法案には、会社員の夫の離職時に年金の資格変更を怠った専業主婦に対する年金過

百六十基金の大半に五年以内の解散を促す上、財政の健全性基準を満たさない基金には厚生労働相が解散命令を発動できる。企業年金の代表格とされてきた基金制度は大幅に縮小する。

改正法案には、会社員の夫の離職時に年金の資格変更を怠った専業主婦に対する年金過

百六十基金の大半に五年以内の解散を促す上、財政の健全性基準を満たさない基金には厚生労働相が解散命令を発動できる。企業年

金制度改正法案が十九日の参院本会議で賛成多数により可決、成立した。施行は来年四月となる方向だ。全約五千度見直しを柱とする年金制度改正法案が十九日の参院本会議で賛成多数により可決、成立した。施行は来年四月となる方向だ。全約五千度見直しを柱とする年金制度改正法案が十九

年の参院本会議で賛成多数により可決、成立した。施行は来年四月となる方向だ。全約五千度見直しを柱とする年金制度改正法案が十九

原発の新規制基準 主な内容

施行と同時に要求	・最大級の津波に備えた防潮堤	
	・地震の揺れ、放射能に耐える作業拠点	・地盤の構造を3次元的に把握
・活断層の詳しい調査		・火山噴火、竜巻の影響評価
・扉を強化し、建屋への浸水防止		・フィルター付きベント設備(沸騰水型)
・海水ポンプを津波から防護		・外部電源2回線を独立させる
・停電中も使える通信設備		・7日間、電力を供給する非常用発電機
・重要配管の多重化		・大飯(いすれも福井県)、四国電力伊方(愛媛県)、九州電力(佐賀県)、川内(鹿児島県)の四電力
・単独で原発を制御、冷却できる「第2制御室」		六原発の計十二基で、
・原発内の直流電源の3重化		七月中にも再稼働申請
・フィルター付きベント設備(加圧水型)		が出される見通し。

5年間の猶予期間の5年間の猶予期間

新規制基準 来月8日施行

免震拠点 未完成のまま

本紙の取材では、北海道電力泊(北海道)、関西電力高浜、大飯(いすれも福井県)、四国電力伊方(愛媛県)、九州電力(佐賀県)、川内(鹿児島県)の四電力

六原発の計十二基で、

七月中にも再稼働申請

が出される見通し。

ただ、新基準が要求

する事故時の対策拠点

となる免震施設が申請

が相次ぐのは必

至だ。

新基準では、原発ごとに最大級の津波を予測し、防潮堤や建屋の扉を強化し、重要な機器

を守る。「活断層の真

上にある原発の運転禁止」を明記し、地盤の構造を二次的に詳しく調べて、想定すべき地震の揺れの大きさを見直す。

福島第一の事故は、電源喪失が引き金となりました。

事故発生に備え、地震の揺れや放射能に耐える作業拠点の整備や、格納容器内の水蒸気を抜いて破裂を防ぐペント(排気)をする際に放射性物質の放出を最小限にするフィルタの設置を求める。通常の制御室とは別に原

の設置を求める。通常の制御室とは別に原

の設置を求める。通常の制御室とは別に原